

平成29年度

しゅうとくかくにんちょうさ  
**学習習得確認調査**

4年生

**理 科**

じっし  
実施時間：40分

注 意

- 1 先生から「始め」の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 この問題用紙に学年・組・登録番号を書きましょう。
- 3 解答用紙の右下のらんにマスターシールをはり、学年・組・登録番号を書きましょう。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きましょう。
- 5 答えは、特別の指示のあるもののほかは、ア・イ・ウ・…のうちから最も適切なものを、それぞれ一つずつ選び、その記号を解答用紙の決められたらんに書きましょう。
- 6 先生から「終わり」の合図があったら、書くのをやめましょう。

学年	組	登録番号

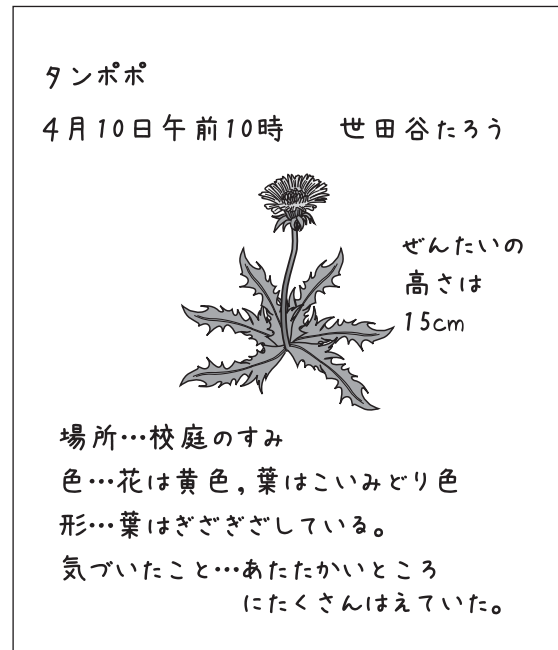
世田谷区教育委員会

1

植物や動物の生活について、次の問いに答えましょう。

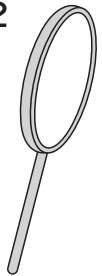
- (1) たろうさんはタンポポを<sup>かんさつ</sup>観察して、**図1**のように<sup>きろく</sup>記録しました。これについて、あとの各問いに答えましょう。

**図1**



- ① たろうさんはタンポポを観察するときに、**図2**の<sup>きぐ</sup>器具を使いました。この器具の<sup>せつめい</sup>説明として正しいものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

**図2**



- ア この器具を、草めがねという。  
イ この器具で、直せつ<sup>たいよう</sup>太陽を見てはいけない。  
ウ この器具を使って観察するときは、まずこの器具をできるだけ目から遠ざける。  
エ この器具を使って観察するときは、自分の頭だけを動かして、はっきりと見えるところで頭を止める。

- ② **図1**の記録にさらに書きくわえたほうがよいものを、次の〔      〕から選び、答えましょう。

〔 先生の名前      学校の名前      天気      〕

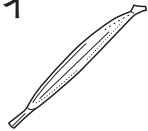
(2) はなこさんはホウセンカのたねをまきました。これについて、次の各問いに答えましょう。

- ① ホウセンカのたねはどのような形ですか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア



イ



ウ



エ

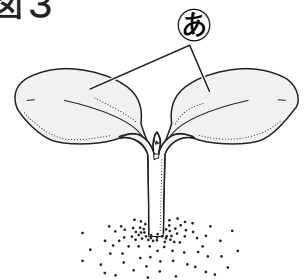


- ② ホウセンカのたねをまくとき、たねとたねの間はどれくらいはなしますか。その長さを次の〔 〕から選び、答えましょう。

〔 1 cm    10cm    1 m    10m 〕

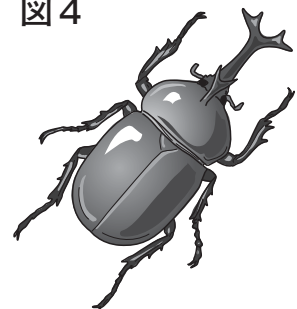
- ③ ホウセンカのたねをまいたところから、**図3**のようなめがでました。**㊤**の葉を何といいますか。その**名前**を答えましょう。

**図3**



- (3) **図4**のカブトムシについて、次の各問いに答えましょう。

**図4**



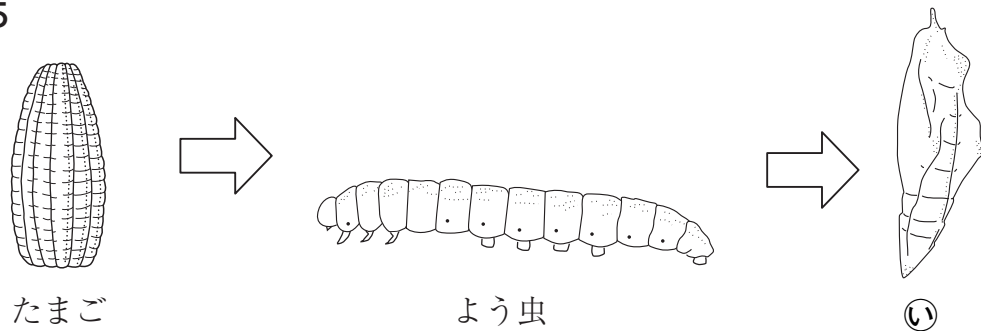
- ① 次の文の□にあてはまる最もてき切な**ことば**を答えましょう。

カブトムシのからだは、頭・むね・□の3つの部分に分けられる。

- ② カブトムシの6本のあしのうち、むねについているあしは何本ですか。その**数字**を答えましょう。

- (4) モンシロチョウは、**図5**のようにすがたをかえていきます。せい虫がうんだたまごから出たよう虫が大きくなっていくと、**㊦**になります。これについて、あとの各問いに答えましょう。

**図5**



- ① よう虫がたまごから出て、まず食べるものは何ですか。最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア キャベツの葉      イ 土  
ウ ダイコンの葉      エ たまごのから

- ② モンシロチョウのよう虫の育てかたとして最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア えさは1週間に1度とりかえればよい。  
イ 動かすときは、よう虫を直せつ手で持って動かす。  
ウ 育てるようきのふたにはあなを空けておく。  
エ 育てるようきは日光が直せつ当たるところにおく。

- ③ **図5**の**㊦**のときのモンシロチョウを何といいますか。その**名前**を答えましょう。

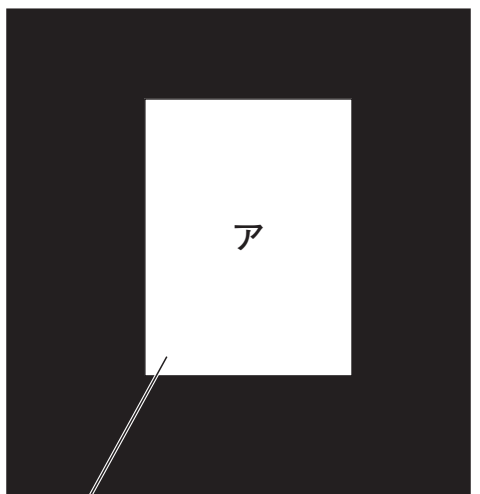
## 2

身のまわりのげんしょうについて、次の問いに答えましょう。

(1) たろうさんは、1まいのかがみを使って、黒いボール紙に光を当てました。

図1はこのとき光が当たった場所を表しています。そのあと、3まいのかがみを使って、黒いボール紙に光を当てました。図2はこのとき光が当たった場所を表しています。これについて、あとの各問いに答えましょう。

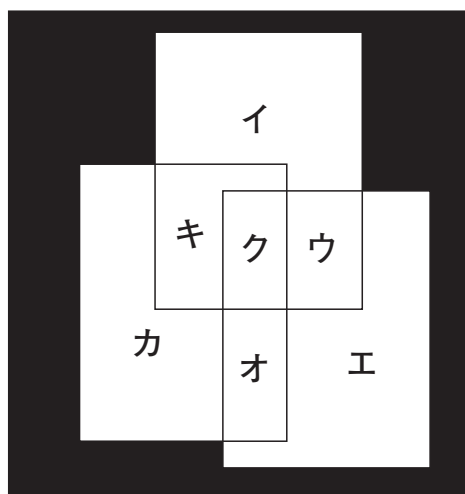
図1



光が当たった  
場所

黒い  
ボール紙

図2

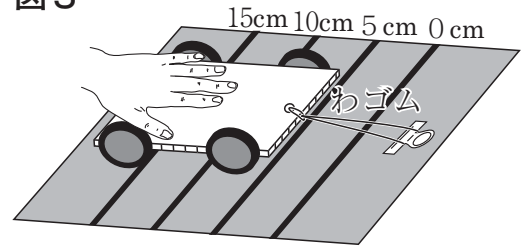


① 図1，図2のア～クのうち、最も明るい場所を1つ選び、記号で答えましょう。

② 図1のアと同じ明るさの場所を図2のイ～クからすべて選び、記号で答えましょう。

(2) はなこさんは図3のように、わゴムを1本つけた車をつくり、わゴムをのばしてから手をはなして車を走らせました。表に、わゴムをのばした長さとして、車が走った長さをまとめました。これについて、次の各問いに答えましょう。

図3



表

わゴムをのばした長さ	車が走った長さ
5 cm	2 m
10cm	㉞
15cm	9 m

① ㉞にあてはまる長さを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 1 m      イ 2 m

ウ 6 m      エ 9 m

② 車につけるわゴムの本数を2本や

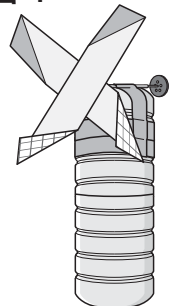
3本にかえて、車を走らせました。わゴムをのばした長さが同じとき、わゴムを何本つけたときが最も走った長さが長かったですか。その本数を次の〔      〕から選び、答えましょう。

〔 1本      2本      3本 〕

(3) 風の力について、次の各問いに答えましょう。

① 図4の風車が回っているとき、風車に当たる風が強くなるとどうなりますか。てき切なものを次から2つ選び、記号で答えましょう。

図4



ア 回りかたがおそくなる。

イ 回りかたがはよくなる。

ウ 回っている音が小さくなる。

エ 回っている音が大きくなる。

② たろうさんは図5のような風りんをつくりましたが、風がふいても音はなりません。風がふくと玉がガラスに当たって音になるようにするためにはどうすればよいですか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

図5



ア 玉の下に紙をつける。

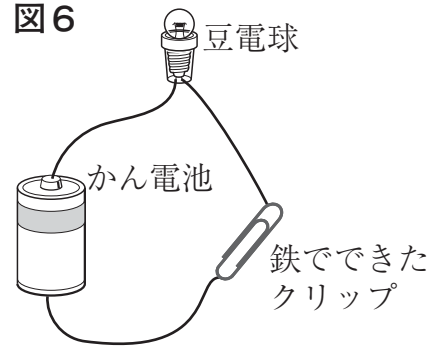
イ ガラスの上に紙をつける。

ウ 玉の下にくぎをつける。

エ ガラスの上にくぎをつける。

- (4) 図6のように、豆電球とかん電池と鉄でできたクリップをどう線でつなげたところ、豆電球の明かりがつけました。これについて、次の各問いに答えましょう。

図6



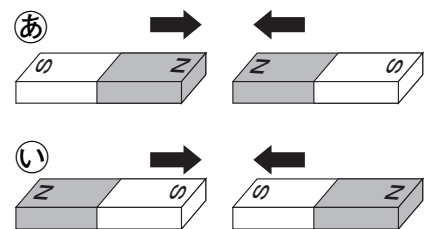
- ① 豆電球に明かりがついたとき、電気の通り道は1つのわのようにつながっていました。この電気の通り道を何といいますか。その名前を答えましょう。
- ② 図6のクリップのかわりに、次のア～エをつなげたとき、豆電球の明かりがつくものはどれですか。次からすべて選び、記号で答えましょう。

ア おり紙      イ 一円玉      ウ 鉄くぎ      エ わりばし

- (5) じしゃくについて、次の各問いに答えましょう。

- ① ぼうの形をした2つのじしゃくを、図7のあ、いのようにそれぞれ近づけました。これらのとき、じしゃくは引きつけ合いましたか、しりぞけ合いましたか。その組み合わせとして、最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

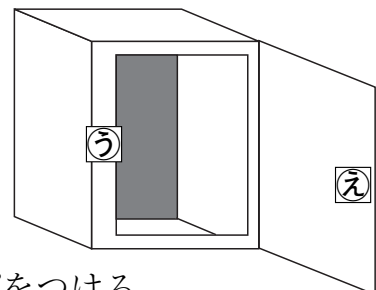
図7



- ア あ…引きつけ合った。      い…引きつけ合った。  
 イ あ…引きつけ合った。      い…しりぞけ合った。  
 ウ あ…しりぞけ合った。      い…引きつけ合った。  
 エ あ…しりぞけ合った。      い…しりぞけ合った。

- ② はなこさんは図8のようなはこをつくりました。このはこをじしゃくの力でぴたりとしまるようになるには、どのようにすればよいですか。てき切なものを次から2つ選び、記号で答えましょう。

図8



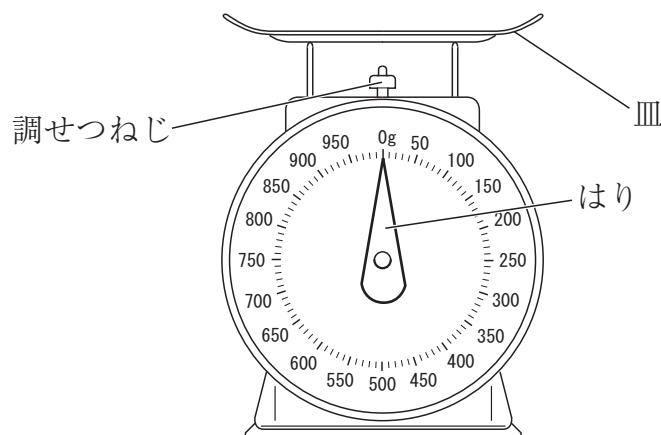
- ア ⑤にじしゃくを、⑥に鉄でできたクリップをつける。  
 イ ⑤にじしゃくを、⑥にアルミニウムはくをつける。  
 ウ ⑤に鉄でできたクリップを、⑥にじしゃくをつける。  
 エ ⑤にアルミニウムはくを、⑥にじしゃくをつける。

3

もののせいしつについて，次の問いに答えましょう。

- (1) 図1は，ものの重さをはかるための器具です。これについて，あとの各問いに答えましょう。

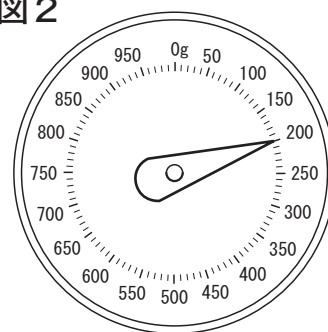
図1



- ① 図1の器具の名前を，次の〔            〕から選び，答えましょう。  
〔 デジタルはかり      台ばかり      ばねばかり      天びんばかり 〕
- ② 図1の器具の使いかたとして，まちがっているものを次から1つ選び，記号で答えましょう。  
ア この器具は，水平なところにおいて使う。  
イ はりが0を指すように調整つねじを回してから，皿の上に紙をのせたあとに重さをはかるものをのせる。  
ウ 重さをはかるものは皿の中央にのせる。  
エ 目もりは，正面から読む。

- ③ 図1の器具にある重さのものをのせたとき，目もりは図2のようになりました。このときのせたものの重さを，次の〔            〕から選び，答えましょう。  
〔 100g      150g      200g      250g 〕

図2

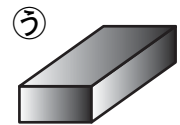
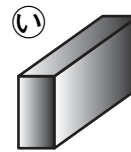
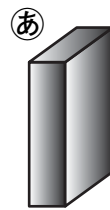




(2) ものの重さについて、次の各問いに答えましょう。

① ある1このレンガを、**図3** **図3**

の㉞～㉟のように、いろいろ  
なおきかたでおきました。こ  
れらのときのレンガの重さにつ  
いて、最もてき切に説明し  
ているものを次から1つ選び、記号で答えましょう。



ア ㉞～㊱の中で、㉞が最も重い。

イ ㉞～㊱の中で、㉟が最も重い。

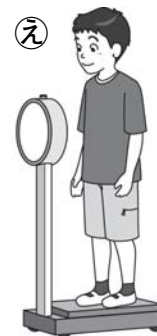
ウ ㉞～㊱の中で、㊱が最も重い。

エ どれも重さはかわらない。

② 次の文の□にあてはまるものを、**図4**

あとの〔□〕から1つ選び、記号で答  
えましょう。

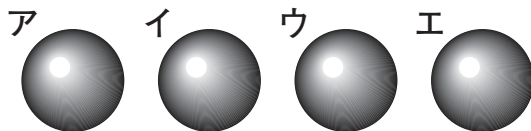
たろうさんは**図4**の㉞のように体重計  
にのっていた。たろうさんが**図4**の㊱の  
ようにかた足を上げたとなると、たろう  
さんの重さは□。



〔 重くなる      軽くなる      かわらない 〕

- (3) 図5のア～エは同じ大きさの玉です。ア～エのうち、2つの玉は同じしゅるいのものでできています。たろうさんはア～エの重さをはかって、表にまとめました。図5のア～エから、同じしゅるいのものでできていると考えられる玉を2つ選び、記号で答えましょう。

図5

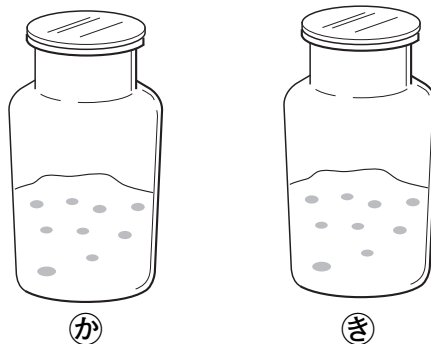


表

玉	ア	イ	ウ	エ
重さ	27g	79g	6g	27g

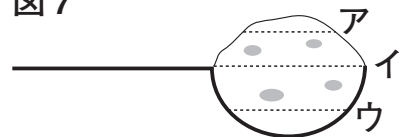
- (4) 図6の㊦と㊧のびんには、こなが入っています。それぞれのこなの重さをくらべるために、まず、計りようスプーンで㊦のびんからすり切り2はいのこなをとって、その重さをはかりました。次に、計りようスプーンで㊧のびんからすり切り□はいのこなをとって、その重さをはかって、先ほどはかった重さとくらべました。これについて、あとの各問いに答えましょう。

図6



- ① 下線部のすり切りとは、どの場所を平らにするのでしょうか。最もてき切なものを図7のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

図7



- ② 正しいこなの重さのくらべかたとなるように、□にあてはまる最もてき切な数字を答えましょう。

# 4

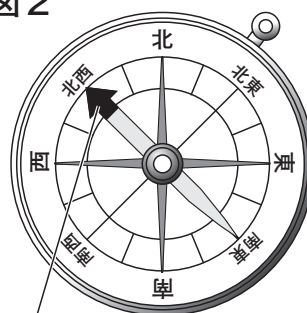
日本での太陽の動きや地面の温度について、次の問いに答えましょう。

(1) 図1，図2の器具について、あとの各問いに答えましょう。

図1



図2



色のぬってある  
はりの先

① 図1の器具は太陽を見るときに使います。この器具の名前を何といいますか。また、この器具はどのように使いますか。その組み合わせとして、最も適切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

- |   |          |                      |
|---|----------|----------------------|
| ア | 名前…しゃ光板  | 使いかた…太陽をこの器具にうつして見る。 |
| イ | 名前…しゃ光板  | 使いかた…この器具を通して太陽を見る。  |
| ウ | 名前…はんしゃ板 | 使いかた…太陽をこの器具にうつして見る。 |
| エ | 名前…はんしゃ板 | 使いかた…この器具を通して太陽を見る。  |

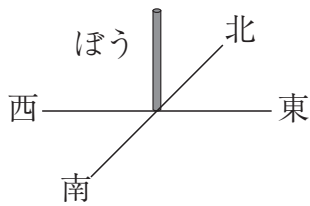
② 図2の器具を何といいますか。その名前を答えましょう。

③ 図2の器具を使うとき、色のぬってあるはりの先をどの方位に合わせますか。次の〔 〕から選び、答えましょう。

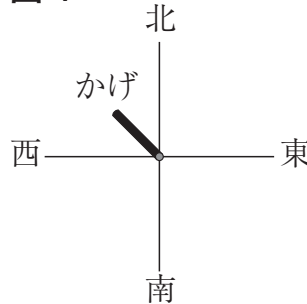
〔 東    西    南    北 〕

- (2) はなこさんは東西南北の方位を調べて、地面に十字の線を引きました。次に、**図3**のように線が交わるところにぼうを立てて、かげのできる<sup>いち</sup>位置を午前9時から午後3時まで、1時間ごとに記録しました。**図4**は午前9時のときのかげの位置を、**図5**は午後3時のときのかげの位置を表しています。これについて、次の各問いに答えましょう。

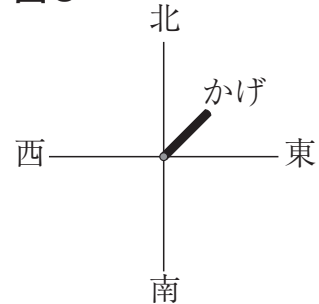
**図3**



**図4**



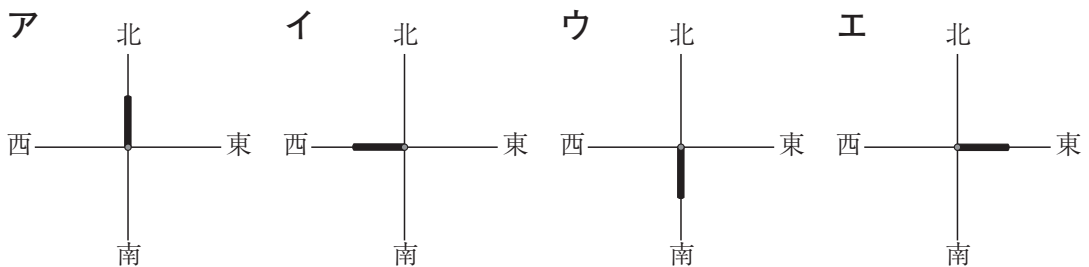
**図5**



- ① 太陽とかげとぼうの位置について、最もてき切に表しているものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 太陽→かげ→ぼう      イ ぼう→太陽→かげ  
ウ 太陽→ぼう→かげ

- ② 正午のときのかげはどの位置にありましたか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

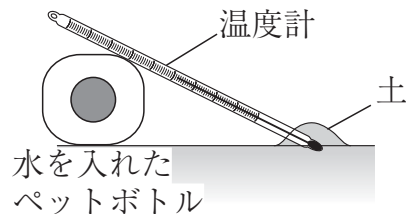


- ③ はなこさんは観察の結果から、太陽の動きかたについて考えました。太陽はどのように動きますか。最もてき切なものを次から**2つ**選び、記号で答えましょう。

ア 東からのぼり，西にしずむ。  
イ 西からのぼり，東にしずむ。  
ウ 北の空を通る。  
エ 南の空を通る。

- (3) たろうさんは、あるはれた日の午前9時と正午に、日なたと日かげで地面の温度をはかりました。はじめ、**図6**のようにして地面の温度をはかろうとしましたが、はかりかたがまちがっていることに気づき、正しいはかりかたではかり直しました。午前9時と正午の結果のうち、正午のものを**表**にまとめました。これについて、次の各問いに答えましょう。

**図6**



**表**

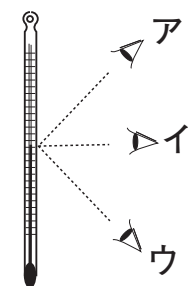
日なた	26℃
日かげ	18℃

- ① たろうさんは**図6**のとき、どのようなまちがいをしていましたか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 温度計の上に土をかけていた。  
 イ 温度計を入れたあなが浅<sup>あさ</sup>かった。  
 ウ 温度計のえきだめがあるほうをあなに入れていた。  
 エ 温度計におおいをしていなかった。

- ② 温度計の目もりは、どのように読みますか。最もてき切なものを**図7**の**ア～ウ**から1つ選び、記号で答えましょう。

**図7**



- ③ 日なたのほうが日かげよりも地面の温度が高かったことから、地面は何によってあたためられたと考えられますか。

次の〔        〕から選び、答えましょう。

〔 日光    虫    水    空気 〕

- ④ たろうさんが午前9時に地面の温度をはかった結果として、最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

**ア**

日なた	20℃
日かげ	17℃

**イ**

日なた	30℃
日かげ	22℃

**ウ**

日なた	30℃
日かげ	17℃





